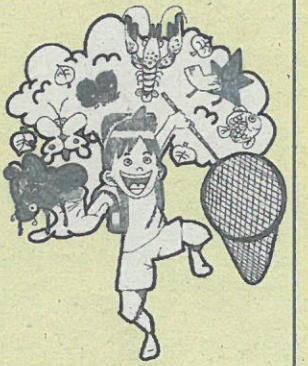


スタ小新聞



スタツ
小学校



しょくよく あき 食欲の秋



(火曜)くるぼうし

すっかり長袖の季節になってきましたね。流石に朝晩は長袖を着てしまえますが、子どもたちの前ではなるべく半袖で強がりたいたいこの頃・・・さて、スタンツでは毎年この時期になるとさつまいもの収穫体験を行います。5月ごろに植えた苗を見に行くとかなり成長している様子。いざ、掘り進めていくと土がコンクリート並みに硬くなっているというサプライズもありながら、楽しく収穫体験をすることができました。収穫したお芋はすぐに食べても美味しいのですが、新聞紙に包んで数日置いておくと更に甘みが増して美味しくなるそうです。くるぼうしでは収穫したお芋を1週間寝かせ、焼き芋にして食べました。ご自宅で焼き芋を食べられる際は電子レンジやオーブン、蒸し器を使われる方がほとんどかと思いますが、スタンツ小学校では焚き火で焼き芋を作ります。実はこの方法、意外と難しくて火力が強すぎると黒焦げになってしまい、芋が持っている甘味成分が壊れてしまうんだとか。なので、焚き火で焼き芋を行う際は、火を熾火の状態にし低温でじっくり行うと甘みが残り美味しくできるのでやってみてください！

(日曜)ネイチャー

食欲の秋ということで、まだまだ食べ続けるスタンツ小学校。今度は、毎月行っているネイチャーで「どんぐりクッキング」を行いました。野外教育に携わっていると当たり前のように、「食べられるどんぐり」と「食べられないどんぐり」を認知していますが、野外活動をしていない大人からすると、食べられるどんぐりと食べられないどんぐりの判別がつかないどころか、どんぐりが食べられる物かの判断もできない方もいます。前置きが長くなってしまうましたが、今回は天白公園で食べられるどんぐり「スダジイ」「ツブラジイ」「マテバシイ」を探し、クッキーの生地に入れて食べてみました。スダジイとツブラジイは殻を割ったらそのまま食べられますが、マテバシイは一度火を通してから食べます。そうすると本当に栗の味がして美味しいんです！公園を歩くとどんぐりがたくさん落ちていますが、どんぐりの形、ぼうし、葉っぱや色に注目してみると、ただ公園を散歩するだけでも色々な気づきがあって面白いですよ。大人も子どもも楽しめるどんぐりの本を紹介していますので、よろしければ参考にしてみてください。

おすすめの本

どんぐり図鑑は世に沢山あつてどれも見やすいものばかりですが、今回はこちらを紹介させていただきます。イラストで描かれており小さいお子さまでも入り込みやすい本となっております。一家に一冊あつて損はないですよ(笑)

● **ぼくのどんぐり図鑑**
ひろつた・あつめた

● **著者/編集・盛口満**



校長のしづやきと校長「家を買う」

今年も残り2ヶ月となりました。本当にあつという間ですね。昨年末には「来年はこんな年にしよう!」と意気込みますが、実際にできた事、出来なかったこと、これから行うことなど、そろそろ心の棚卸しをする時期かもしれませんね。さて、私は今年29歳ということで、20代最後の年となります。成人してからは、社会人として、社会の荒波に揉まれながらもがむしゃらに頑張り、プライベートでは結婚と、人生を大きく左右する年となりました。そんな私にも残り残ったことがあります。そう、「夢のマイホームを買う!」です。最初は「こんな家に住みたいない!」「絶対この家みたいにする!」と夢と希望に溢れていましたが、実際に不動産やハウスメーカーの話聞いていくと、理想と現実のギャップに頭を悩まされました。とは言っても、話を進めていかなければいけないので、何を諦めて何を優先するかという究極の選択を毎回迫られていきます。どのメーカーさんも口を揃えて「100%満足する家はないですよ」と言われ、一生の買い物なのにそんなものなのかと衝撃を受けたのも印象的です。結局100%満足とはいきませんでした。十分満足できる家に出会い順調に話が進んでいます。どんな家に住むかというよりも誰とどんな家庭にしていきたいかの方が大事だなんて改めて思うようになりました。今回は完全に私のプライベートな記事でしたが、家を買ったことにより今まで以上に気合を入れて仕事を頑張らないといけないですね。引き続き子どもたちがワクワクし続けられる環境を用意していきます。